

土壤汚染リスク

## 簡易評価事業を展開

アースアップ  
レイザル  
競売物件に照準

アースアップレイザル(03・52988・2151)はこのほど、競売物件向けの「土壤汚染リスクフェーズ〇・八簡易判定書」を開発し、営業活動を開始した。対象地における汚染物質取扱など利用履歴や、水質汚濁防止法上の特定事業場としての届け出の有無など関連資料を調査。更に不動産鑑定士や土壤汚染調査技術士など専門家が実際に現場の立ち入り調査を実施し、土壤・地下水の汚染リスクを判定する。費用は一件当たり一〇万円。不動産鑑定士などが競売物件のリスク評価を行う場合、従来は資料調査が基本であり、専門家による評価が必要な場合は一〇万円の費用負担をすることが多かった。

競売物件は年間約七万五〇〇〇件あり、経済情勢の悪化の影響で増加傾向にある。特に工場跡地など土壤汚染リスクが想定される物件が急増しているという。同社では今後、年間一萬四〇〇〇件の調査対象物件があり、市場は年間一四億円になると試算。フェーズ〇・八簡易判定書のニーズが高まると見ており、今後調査会社と業務提携して全国展開していく。